

NPO 法人「三郷サンサンハウス」ニュース №.30

あかねの里の土地を購入し、NPO設立準備に忙しかった10年前。あつという間のようで、また長い長い道のりでした。

職員が利用者に寄り添い、よりよいケアをめざして頑張っているのを誇りに思っています。4月末に開所式を終えた「くるみ」は、良き指導者（機能訓練士）を得て若い職員がひたむきに取り組み、利用者にも地域にも役立つ事業に成長する事と思います。

「建設協力債」で事務所やくるみの改修費や器具購入費をまかなう事ができました。会員皆様の物心ともに頂くご支援に報いるのは、法人の3つの理念を大切に、健全経営とよき介護で地域に役立つ事業所として成長することを考えています。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

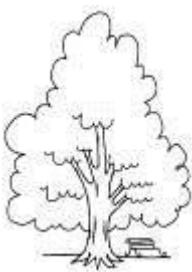
 お知らせが遅くなりましたが、3月から事務所等が三室から東信貴ヶ丘に引っ越ししました。「くるみ」と同じ建物です。以前より広く休憩場所（玄関ホール）もあります。買物・外出等の際お気軽に立ち寄りください。

理事長 上野登志子

NPO 法人
「三郷サンサンハウス」
三郷町三室2丁目5-22
Tel/0745-32-3535
Fax/0745-32-3519
理事長 上野登志子
2012.6.10



三郷サンサンハウスの3つの理念



- ① 住み慣れたまちで暮しつづけるために必要支援を幅広くして行きます。
- ② 利用者や地域から信頼される事業所・職員として成長します。
- ③ 安全・平等・平和な社会環境づくりの一端を担います。

リハビリティサービス くるみ

☆☎32-3535☆

この度、新しく機能訓練型デイサービスとして立ち上りました“リハビリティサービス くるみ”です。4月27日に開所式を迎え、無事オープンする運びとなりました。皆さま本当にありがとうございます。

リハビリティサービスくるみでは3つの機能改善をめざします。

- ① 知覚神経の正常化
- ② 運動神経の活発化
- ③ 精神機能の向上化



リハビリティサービスくるみでは、ご利用者様の身体状況だけでなく目標や精神面を考慮した心地よく運動をしていただける施設をめざしています。リハビリテーションの内容はプログラム化されており、介護スタッフと機能訓練士との連携によりこれまでにない新しい形のリハビリティサービスとなっております。

これまでのデイサービスにない新しい発想のプログラムとは

- ① 姿勢分析器を使った身体のバランス、歪みを意識したプログラム
- ② 日常生活における身体動作にこだわったプログラム
- ③ スポーツゲームを通じて精神の向上にこだわったプログラム
- ④ 西洋医学と東洋医学を融合した統合プログラム
- ⑤ がんばらせない『ゆっくり、ゆったり、気持ちよく』プログラム



姿勢測定器（サンサン会寄贈）を使って、利用者様の現在の姿勢を撮影し分析いたします。姿勢の撮影は1ヶ月後、3ヶ月後、1年・・と記録し、リハビリテーションの変化を映像により評価し、個々の利用者様がリハビリ進行状況を経過観察とともに、その評価をもとにリハビリ計画を見直し、次の目標を定めることができます。リハビリ器具を使った様々な運動プログラムは個人を尊重しながら、一体感を大切にしながら「ゆっくり、ゆったり、気持ちよく」行います。また、スポーツゲームをすることにより、心身共に集中した状態をつくりだし、楽しい時間を過ごしていただきます。ゆったりとした時間の流れの中で、心身を安心してゆだねて頂ける空間にするためにスタッフ一同力を合わせて頑張ります。今後ともご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

岡本 真弓



リハビリディサービスくるみスタッフ

管理者兼生活相談員	岡本 真弓
生活相談員兼介護員	山田 志保
介護員	山城 章江
トレーナー	荻原 一郎
主任機能訓練士	石黒 克樹
機能訓練士	南出 有加

居宅介護支援事業所

☆☎32-3535☆

今回はリハビリを頑張った結果、要介護 4 から要支援 2 になった利用者さんのお話です。



平成 18 年 12 月に脳内出血を発症。左上下肢麻痺（上肢は全く動かせず、下肢に装具をつけても歩行不安定で困難）、左半側空間失認（左側の認識、感覚障害があるので物にぶつけて怪我しても気づかずに血を見て初めて気づく）、高次機能障害で認知力の低下と僅かな言語障害の後遺症が残った 45 歳男性。要介護 4 でした。倒れる以前は毎年バイクで北海道に行ったり、全国をバイクでツーリングするのが趣味の活発な人でしたのに、誰かの介助なしでは日常生活を送ることは到底無理な身体になられたのです。同居の両親は高齢で「親の亡き後」の心配をされていました。

しかし、ご本人は「リハビリをして社会復帰したい」という強い意志や意欲が十分うかがえました。家族の後押しも励みになり身体機能向上を目指したトレーニングを積極的にされて、どんどん出来る事が増えて今では要支援 2 です。つい最近では車（改造車）を購入して自宅周辺を運転されています。お母さんから「息子がコーナンまで車に乗せてくれました！ゆっくりしたスピードですけど、ここまでになれたのは良い人達に恵まれたおかげです。」と感激の電話を下さいました。また更なる目標である就労にむけてパソコンの IT 技術の習得を目指して、1 人でバスや電車を乗り継いで障害者支援事業所に通っておられます。「外出は必ず誰かが付き添って見守りをしないと転倒の危険がとても大きいですよ。」と 4 年前の退院時に注意を受けたことが嘘のようです。



どんな障害を持っても諦めずに頑張れば、自立した生活が出来ることを実証して下さったのがとてもうれしいですし、これからが楽しみです。 中川香代子

ディサービス あかねの里

☆☎31-3536☆



山々が鮮やかな緑になり、送迎中もドライブで楽しい季節になりました。

4月、あかねの里でもお花見を心待ちにしていたのですが、今年は桜の開花が遅く、開花してもお天気の悪い日が続いたりと、なかなか外へ出掛けることができませんでした。

そんな日が続く中、晴れ間をみて広陵の箸尾や、竜田川、良福寺にてかけました。

広陵の箸尾では、川沿いの両側から垂れ下がる見事な桜に皆で『おお～！！！』と声があがり感動しました。中には『こんな良いところ初めて！！』など今年も桜と一緒に見れたこと嬉しく思いました。

これからもどんどん出掛け初夏を楽しみたいと思います。



山田 志保



4月からスタッフとして仲間いりしました 乾 由美です。

斑鳩町の法隆寺の近くに住んでいます。早く仕事に慣れ皆様と共に楽しい時間を過ごさせて頂けるよう頑張りたいと思います。

どうぞよろしくお願いします。

去年の花
一期と逝けし人悼み
しのび参らす今年の花に



Tさん桜が好きでしたね。TVに映るとウワー桜と声をあげていましたね。そのあなたが今年の花をみることなく天に召されておしまいになって、そちらにも桜の名所はあるのでしょうか。N様と眺めておいでかしら、みなさんでお花見をなさっていたら嬉しいなと思っています。

かく言う私も「あかね」から転居いたしましたので偏照院の桜も、信貴山の稜線の桜も見られませんでした。

新居から見えるのは山桜 白くかすんで咲いています。かと思うと近くに咲いている花があるらしく、窓の外を花がひらひらと舞っています。「あかね」にもまた新しい方が入居なさって新しい日々が始まるでしょう。

どうか楽しく穏やかな日常が始まりつづいて行く事を願っております。

井上京子

今年の2月、3月は本当にさみしい月でした。よく頑張って下さったTさんNさんが続いて逝ってしまわれましたが、ともに穏やかな最期を迎えられ、ご家族から心からのねぎらいの言葉を頂きました。一緒に支えてきたご家族・主治医の力がなければ出来なかった事です。

当初から入居のIさんも新居で元気になさっています。(この優しい文書が何よりの証です)

新しくNさんTさんお二人が入居、ただ今1室のみ空いています。



設立当初から、あかねの里でお世話をし、一人ひとりの気持ちを一番理解している 春木ひとみ が 上野登志子 に代わり管理者を務めることになり、あかねの里に名実ともにそなわった管理者が常駐致します。

ごあいさつ

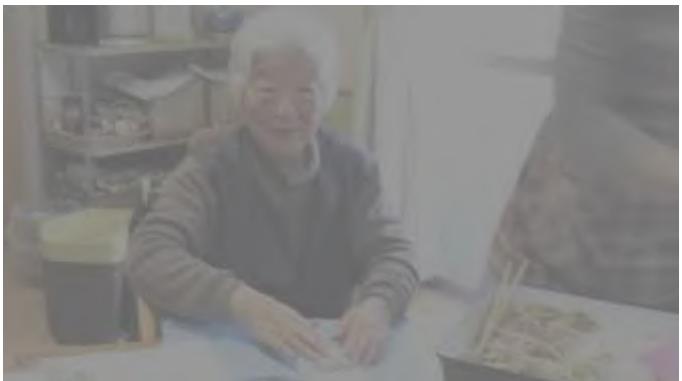


今までヘルパーステーションや萌の里の職員として皆様と関わさせていただき、多くの事を学ばせていただきました。これからも 人生経験豊かな皆様のお力やお知恵を借りながら、日々の生活の中で喜びや楽しみを共有し過せていくなら嬉しい思います。よろしくお願ひ申し上げます。

春木 ひとみ

小規模多機能ホーム 萌の里

☆☎33-3555☆



利用者さんと一緒に春巻きを作つてお昼の準備



務付けられています。この度、外部評価を受けるにあつたて常勤職員で自己評価という振り返りを行いました。聞かれていることが求められている事であり、これは新人職員の萌の里の支援の理解を深めるのにいい機会になりました。また、ベテラン職員にもあらためて今の萌の里の課題を抑えなおす作業になつたようです。以前研修で聞いた言葉に“何回会議をしたかよりも何回飲んだかの方が理解しあえる”と聞いた事があります。いつかそんな時間を持てたらいいのになあ…って思います、これがだけの人数の職員がいても、24時間支えるシフトをまわすので四苦八苦しているのが現実です。

現在、萌の里所属の職員はサンサンハウスの中でダントツ多い総勢 26 名おります。

これだけの人数で萌の里の（小規模多機能の）支援の考え方や情報の共有を図るのは難しい感じることがあります。小規模多機能には外部評価（第三者に来てもらい評価してもらう）を受ける事が義務付けられています。この度、外部評価を受けるにあつたて常勤職員で自己評価という振り返りを行いました。聞かれていることが求められている事であり、これは新人職員の萌の里の支援の理解を深めるのにいい機会になりました。また、ベテラン職員にもあらためて今の萌の里の課題を抑えなおす作業になつたようです。以前研修で聞いた言葉に“何回会議をしたかよりも何回飲んだかの方が理解しあえる”と聞いた事があります。いつかそんな時間を持てたらいいのになあ…って思います、これがだけの人数の職員がいても、24時間支えるシフトをまわすので四苦八苦しているのが現実です。



三室の地域の協力で避難訓練

藤 みわこ



ヘルパーステーション

☆☎32-3535☆

四月の介護保険改正から、2ヶ月程経ちました。今回の改正では、生活援助の時間が大きく見直され、サンサンハウスでも、生活援助のみの場合は訪問時間を1時間までに変更させていただきました。

1時間という限られた時間内で、必要な支援をするための段取りを考えながら、頭も体もフル稼働で活動しています。そして、ほんの短い訪問時間ですが、安心してすごしていただける時間になるように心がけています。

「今日も元気だね。」のお声かけに、ますます元気と笑顔をいただいて、今日もがんばります！

重松 知子



サンサンサロン

☆☎32-3535☆



春の訪れと共に過ごしやすい季節になりました。

サロンの利用者さん達は、亡くなられた方や施設に入居されたりで、人数が減り寂しいですが、午前は、小物作りやおしゃべりに花を咲かせ、午後は、希望される利用者さんだけで近くのスーパーに買い物に出かけます。これは、年々足・腰が弱くなり日用品や食料品の買い物が大変だという利用者さんの為に始めました。

「助かるわ～」と言ってもらうと、とってもうれしいです。

そして、いつまでもいきいきと楽しい日常生活が送れるようにと願い、認知症予防を取り入れた笑いあふれるゲームを始めます。手・上半身の運動や頭の体操・集団ゲームで、笑いながら楽しんで頂きます。

柳 美保



参加者募集！

★小物作りが好き

★最近、物忘れが進んできたな～と思う方
ぜひご参加ください



サンサン福祉タクシー

☆☎32-3535☆

介護保険での通院等乗降介助は、要介護の方が対象となります。通院のほかに、銀行へ年金を引き出しに行く、眼鏡や補聴器をあわせに行くなど、本人が必要な移動に利用できます。



また、介護保険以外の福祉タクシーでは、買い物の行き帰りや、ちょっと遠出の公園への外出など、様々な目的で利用いただいております。初乗り 580 円の小型タクシーで、三郷町はじめ、近隣町のタクシー券も利用いただけます。利用には予約が必要ですが、どうぞお気軽にお問い合わせください。

乗務員一同

たすけあいの会

☆☎32-3535☆

たすけあいの会では4月より活動料を変更させていただきました。

利用の際にいただく 事務手数料は、賠償保険や連絡手数料等に充てていますが、1 時間 300 円を 1 回 300 円に見直し、長時間の通院付き添い等でも利用しやすくなりました。また、基本は 1 時間からの利用ですが、外出付き添いと身体介護については 30 分から利用できるようになりました。

いずれも、介護保険で支援できない場合のみお使いいただけます。

お困りのことがありましたら、たすけあいの会までお問い合わせください。



重松 知子



また、活動者も大募集中です！！！



1 時間当たり

新料金（利用 1 回につき・事務費 300 円・交通費 100 円が別途必要です）

家事援助	外出付添	身体介護	草抜・草刈	植木剪定	大工・運搬
900 円	1,100 円	1,300 円	1,500 円	2,500 円	2,000 円